

September / October
2022 No.19

A Newsletter from SCGO-JSOG Project
on Women's Health and Cervical Cancer

カンボジア 女性のヘルスプロモーションを通じた 包括的子宮頸がんサービスの 質の改善プロジェクト

JICA 草の根技術協力事業(草の根パートナー型)

PROJECT FOR IMPROVING THE QUALITY OF
COMPREHENSIVE SERVICES FOR CERVICAL CANCER

健康教育の実施前のベースライン調査(プレテスト)を行いました

今後実施していく予定の「健康教育」の効果を評価するあたり、対象者(プノンペン市内の小学校に勤務する女性教員1538名)の子宮頸がん予防に関する知識・態度・行動に関する現状を把握するために、ベースライン調査をオンラインアンケート方式で行いました。カンボジア産婦人科学会(SCGO)にとって、オンラインでのアンケート調査は初めての試みでしたが、対象校の校長など管理者から構成されるファシリテーターの協力を得ながら、無事に終了することができました。最終的に、1016名(66%)の有効回答を得ることができ、現在分析を進めています。

オンライン調査のメリット・デメリットについて、現地で運営を担ったカンボジア産婦人科学会事務局スタッフから、下記のような意見が出ました。今後は、健康教育後のポストテストも同様の方法で行い、結果を比較して健康教育の評価につなげていく予定です。デメリットの多くは、今回のプレテスト実施の過程で、上述のファシリテーターの協力によってすでに解決済みですが、ポストテスト実施の参考にしていきます。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">● 紙から電子にデータを入力し直す手間が省ける。● 対象者が自分でデータを入力するため、電話番号等の個人データが正しく入力される。● お金と時間を節約することができ、環境にやさしい(紙を無駄にしない)。● データをすぐに集計することができる。	<ul style="list-style-type: none">● スマートフォンの機種によっては、QRコードを読み取るためのアプリをダウンロードしてもらう必要がある。● スマートフォンもパソコンも持っていない人に対して、紙の質問紙を用意する必要がある。● 対象者のうち誰が回答済みか否かのモニタリングが難しい。● 回答者が質問を理解できなかった場合、誰に質問をすればよいかわからず混乱する可能性がある。● 回答者がアンケートを終えた後に自分の回答を再確認できない。

健康教育で配布するブックレットが完成しました！

健康教育実施時に参加者に配布するブックレットが完成しました。カンボジアのデザイナーに協力いただき、女性たちの心をつかむイメージや雰囲気をうまく表現した仕上がりになりました。カンボジア産婦人科学会(SCGO)が特に伝えたい子宮頸がんに関する知識が掲載されています。



ブックレットの一部(子宮頸がんの概要、リスク因子、検診の方法、キーメッセージなど)

プロジェクト対象小学校に掲示する検診案内ポスターを作成し登録を開始しました

検診案内ポスターを作成し、10月下旬より登録を開始しました。検診対象者は、事業対象のプノンペン市内小学校に勤務し、前項のベースライン調査に回答した、30歳以上女性としています。

検診案内ポスター



~ ミニコラム ~

SCGO 秘書の交代について

SCGO 秘書が1名都合により退職したため、後任として Ms. Som Angkeavatey さんが6月末から働いてくれています。彼女は初代 SCGO 秘書だったので、即戦力になってくれています！



Ms.Som Angkeavatey さん

I appreciate working with my colleagues who always support me. I would like to gain more knowledge related to cervical cancer and more experience in advanced communication using that knowledge. In our project, we focus on primary school teachers as our target. It is sometimes hard to contact the directors of primary schools because some of them are not familiar with information technology (IT) and work very far from our office. However, it is nice that we could collaborate well with the Ministry of Education through this project.